

鹿児島大学生協 集中部会

第023号
(通算656号)



【組織運営】

取り組み概要

日時：6月13日(土)
場所：鹿児島大学生協 教育食堂
参加者数や組合員の反応：組織部に仮入部中の1年生19名が参加。2～4年の組織部員、生協職員4名、学生事務局1名が参加。

背景や概要：新入部員と既存部員との関係構築、組織部の活動内容や役割への理解促進、そして今後の活動への主体的な参加を目的として集中部会を開催しました。組織部で活動する意義や企画づくりの考え方を学ぶ機会となりました。

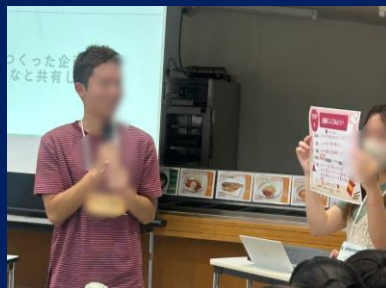
01 組織部について学ぶ 活動の役割と想いを共有

岩切専務からは、「鹿児島大学生協が目指す姿」や「組織部に期待すること」についてお話がありました。大学生協が組合員のよりよい学生生活を支える存在であることや、その実現に向けて**組織部が果たす役割について**話されていました。組織部方針の時間では、委員長から組織部全体として目指す方向性や活動への想いが語られました。活動内容だけでなく、「**なぜ活動するのか**」という**意義についても考える機会**となり、新入部員にとって今後の活動への理解を深める時間となりました。また、参加者全員が自己紹介と頑張りたいことを宣言しました。



02 実践的に学ぶ企画づくり 企画シミュレーションで生協らしさを体験

企画シミュレーションでは、ポッキー企画を題材に、「ポッキーのイメージは？」から**具体的な企画立案までの流れを体験するワークを実施**しました。「参加者にどうなってほしいのか」「どのような課題があるのか」を考えながら、付箋やワークシートを活用してグループごとに意見交換を行いました。企画発表までを通して、大学生協らしい「組合員の声をもとに企画をつくる」という考え方を実践的に学ぶ機会となりました。



03 協同でつくる集中部会 入念な準備と運営体制

「パーセントバルーン」や「川柳づくり」などのアイスブレイクも実施しました。新入部員同士だけでなく、上級生や職員とも交流できる機会となりました。また、事前準備も丁寧に行われており、スライドやワークシート、レジュメは早い段階から作成されていました。特に**レジュメは、当日の流れや班移動、用語説明などが分かりやすく整理**されており、新入部員が内容を理解しながら安心して参加できる工夫が施されていました。学生事務局も九州ブロックにおける活動や会員同士のつながりについて紹介を行いました。



つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[Q BK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [竹元七夕]
Takemoto.Nayu@univ.coop